

「最近の機械貿易動向(6月)～機械輸出額20ヶ月連続減少～」

日本機械輸出組合 2020.8.31

2020年6月の機械輸出額は2兆9,887億円、対前年同月比28.8%減と、20ヶ月連続で前年同月比減少した。これは、①5地域向けで前年同月比減少したこと、②21業種中20業種が前年同月比減少したことなどによる。為替・営業日要因が9.2%の増加寄与要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は34.8%減となった。8月21日発表の貿易統計速報による簡易計算では、2020年7月の機械輸出は20.5%減であった。

I 要約

1. 全商品貿易動向(図表1)

- ① 全商品輸出額:4兆8,624億円(前年同月比 [以下同じ] 26.2%減、19ヶ月連続減少)
- ② 全商品輸入額:5兆1,317億円(14.4%減、14ヶ月連続減少)
- ③ 貿易収支:2,693億円の赤字

2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向(図表2)

- ① 機械輸出額:2兆9,887億円(28.8%減、20ヶ月連続減少)
為替・営業日要因を除いた実質的伸び率:34.8%減(5ヶ月連続減少)
- ② 機械輸入額:1兆7,122億円(11.3%減、9ヶ月連続減少)

(2) 為替・営業日動向

2020年6月に9.2%の増加要因、7月に4.9%の減少要因、8月に5.0%の減少要因。
(8月の為替要因は8月27日の東京市場のレートにより、仮計算)

(3) 地域別動向

- ① 韓国・台湾向けを除く5地域向けで前年同月比減少(図表4、5)
- ② 北米向け:50.8%減、11ヶ月連続減少(図表4、5)
- ③ EU27向け:33.2%減、9ヶ月連続減少(図表4、5)
- ④ 中国向け:4.1%減、4ヶ月連続減少(図表4、5)
- ⑤ 韓国・台湾向け:3.2%増、3ヶ月連続増加(図表4、5、6、7)
- ⑥ ASEAN・南アジア向け:39.1%減、18ヶ月連続減少(図表4、5、6、8、9)
- ⑦ その他地域向け:28.8%減、5ヶ月連続減少(図表4、5、10)

(4) 業種別動向(図表11)

上位21業種中船舶のみが増加。

(5) 機種別動向(図表12、13)

- ① 船舶(パナマ、リベリア、マーシャル、シンガポール向け中心)、磁気カード・ディスク等(中国、ASEAN・南アジア向け中心)が二桁の伸び
- ② 時計、自動車部品、乗用車等が大きく減少

(6) 機械輸入動向(図表14)

機械輸入額上位12機種のうち、電子計算機、白物家電等4機種が増加

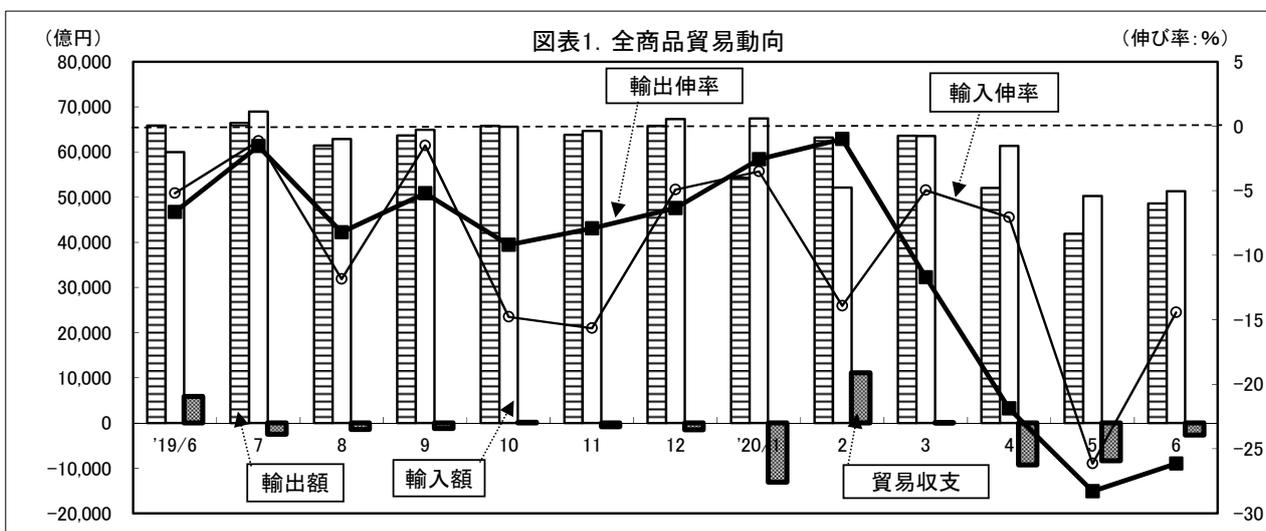
Ⅱ トピックス

今号のトピックスの掲載はありません。

Ⅲ 個別動向

1. 全商品貿易動向～輸出は19ヶ月連続、輸入は14ヶ月連続で減少～

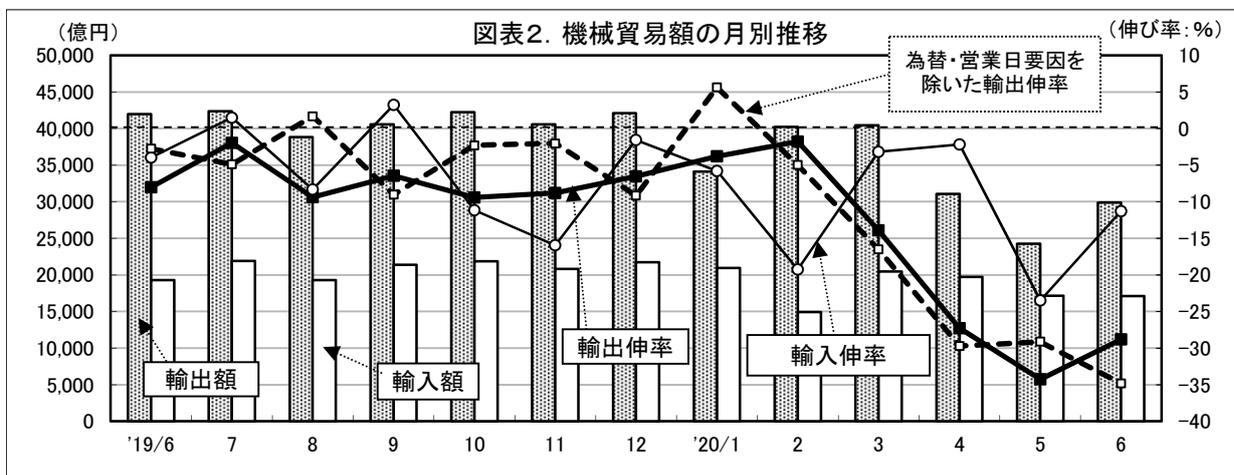
- 2020年6月の全商品輸出額は**4兆8,624億円**、前年同月比(以下同じ)**26.2%減**と19ヶ月連続で減少した(5月28.3%減)。これは、約21%を占める一般機械(24.5%減)、約19%の電気機器(18.5%減)、約18%の自動車等輸送用機器(41.1%減)、約13%のプラスチック等化学製品(14.2%減)、約11%の鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(25.5%減)等が減少したためである。
- 輸入額は**5兆1,317億円**、**14.4%減**と14ヶ月連続で減少した(5月26.2%減)。これは、全輸入額の約14%を占める医薬品等化学製品(9.6%増)や約12%の一般機械(2.6%増)が増加したものの、約17%を占める電気機器(6.3%減)や約12%の原粗油等鉱物性燃料(48.7%減)、約10%の原料別製品(8.0%減)等が減少したことによる。
- この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、3ヶ月連続で赤字(2,693億円、5月は8,382億円の赤字)となった。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～輸出は20ヶ月連続、輸入は9ヶ月連続で減少～

- 全商品輸出額の約61%を占める6月の機械輸出額は**2兆9,887億円**、**28.8%減**と20ヶ月連続で減少した(5月34.3%減)。なお、為替・営業日要因を除いた**実質的伸び率**は**34.8%減**であった。
- 一方、全商品輸入額の約33%を占める機械輸入額は、**1兆7,122億円**、**11.3%減**と9ヶ月連続で減少した(5月23.5%減)。

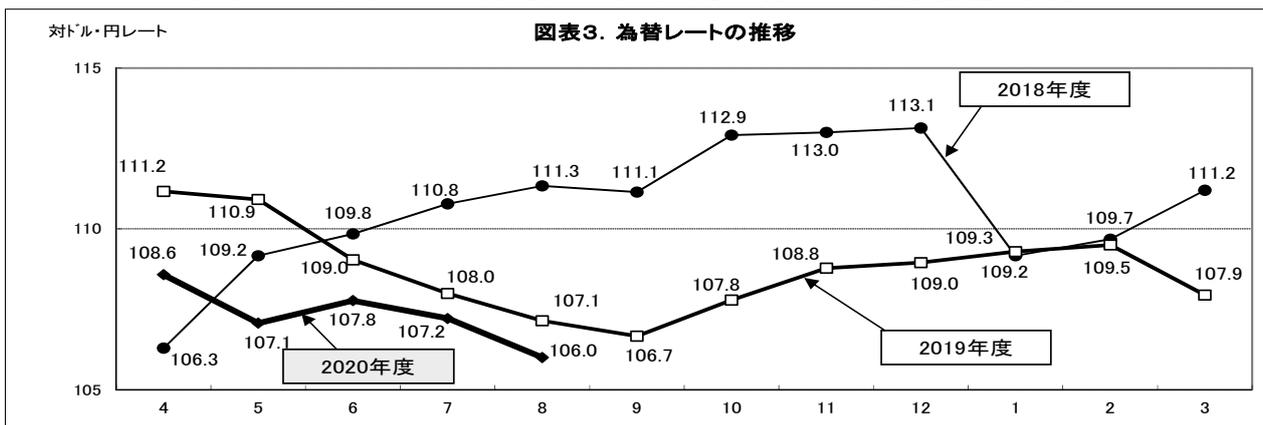


(2) 為替・営業日動向～6月は9.2%の増加要因、7月は4.9%の減少要因～

1) 2020年6月は1ドル=107.8円となり、前年に比べ1.2%の円高となった。また、対ユーロは119.7円と前年に対して2.2%の円高となり、合わせて約0.7%の為替減少要因となった。営業日は前年に比べて2日多いため、10.0%の増加要因となり、合わせて約9.2%の増加要因となる。6月の輸出額は28.8%減であったことから、実質的伸び率は34.8%減と5ヶ月連続で前年同月比減少となった(5月29.1%減)。

2) 2020年7月は1ドル=107.2円で前年比0.7%の円高、対ユーロは120.9円で前年比0.7%の円高となり、合わせて約0.4%の為替減少要因となった。営業日は前年に比べて1日少ないため、約4.5%の減少要因となり、合計で約4.9%の減少要因となる。

3) 2020年8月は、対ドルが8月27日17:00時点の106.0円とすれば、前年比1.1%の円高、また、対ユーロは125.4円で4.9%の円安となり、合わせて約0.2%の為替減少要因となる。営業日は前年に比べて1日少ないため、約4.8%の減少要因となり、合計で約5.0%の減少要因となる。



(3) 地域別動向～韓国・台湾向けを除く5地域向けで前年同月比減少～

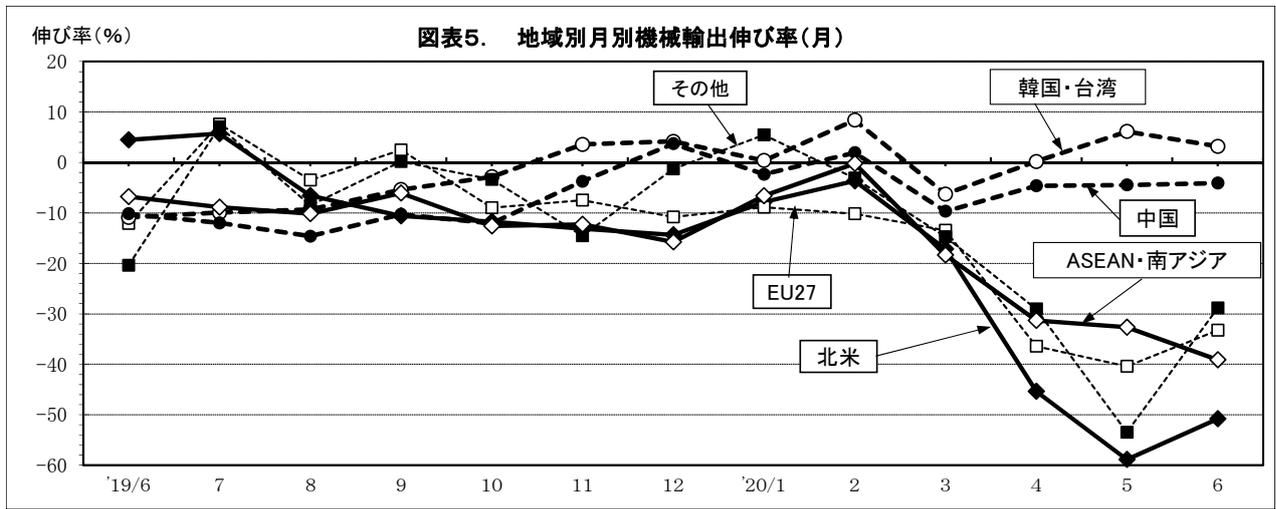
機械輸出額の地域的動きをみると、①全体の18.4%を占める北米向けでは、36%を占める自動車(63.2%減)をはじめ、産業機械(38.7%減)、電池等軽電気機械(28.8%減)、航空機部品(39.6%減)、建設機械(44.2%減)等が大きく減少し、50.8%減となった。②9.7%を占めるEU(英国を除く27ヶ国)向けは、31%を占める自動車(41.1%減)をはじめ、産業機械(23.1%減)、理化学用機器等軽機械(33.6%減)、軽電気機械(30.1%減)等が大きく減少して33.2%の減少となり、③29.9%を占める中国向けでは、20%を占める自動車(2.8%増)、8%の配電機器等軽電気機械(6.3%増)等が増加したものの、24%を占める産業機械(7.3%減)、15%の電子デバイス(13.0%減)等が減少して4.1%減となった。④13.5%を占める韓国・台湾向けは、自動車(17.4%減)が減少したものの、産業機械(26.4%増)、電子デバイス(5.8%増)等が増加して3.2%増となり、⑤13.0%のASEAN・南アジア向けは、インドネシア(62.1%減)、タイ(45.4%減)、フィリピン(32.0%減)、インド(51.6%減)等5ヶ国同様に主要国向けがすべて二桁の減少となり、業種でも電子デバイス(1.4%増)が増加したものの、産業機械(33.3%減)をはじめ、自動車(72.4%減)、軽電気機械(41.5%減)、重電気機械(30.2%減)等が大きく減少して39.1%減となった。⑥14.3%のその他地域向けでは、中南米(25.4%減)、大洋州(9.6%減)、ロシア東欧等(40.5%減)、中近東(54.8%減)、アフリカ(7.3%減)向けがいずれも減少し、業種でも船舶(2.2倍)が大きく増加したものの、自動車(53.9%減)、産業機械(21.0%減)、建設機械(30.6%減)等が大きく減少して28.8%の減少となった。⑦なお、6月は、韓国・台湾向けともに産業機械は前年同期比で増加したものの、電子デバイス、重電気機械等が台湾向けで増加する一方、韓国向けで減少したことにより、台湾向けが8.7%の増加、韓国向けが3.6%の減少となり、韓国・台湾向けの伸び率が鈍化した。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円、%)

	2020/4			2020/5			2020/6		
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア
全世界計	31,054	▲ 27.3	100.0	24,252	▲ 34.3	100.0	29,887	▲ 28.8	100.0
北米	6,410	▲ 45.4	20.6	3,952	▲ 58.9	16.3	5,495	▲ 50.8	18.4
EU (英国を除くEU27)	3,067	▲ 36.4	9.9	2,346	▲ 40.4	9.7	2,888	▲ 33.2	9.7
英国	458	▲ 45.2	1.5	305	▲ 58.0	1.3	398	▲ 56.1	1.3
中国	8,423	▲ 4.6	27.1	7,915	▲ 4.5	32.6	8,930	▲ 4.1	29.9
韓国・台湾	3,928	0.2	12.6	3,582	6.1	14.8	4,027	3.2	13.5
ASEAN・南アジア	4,419	▲ 31.3	14.2	3,395	▲ 32.6	14.0	3,878	▲ 39.1	13.0
その他	4,349	▲ 29.1	14.0	2,756	▲ 53.5	11.4	4,271	▲ 28.8	14.3

は、2ヶ月連続で前年比10%以上増加。

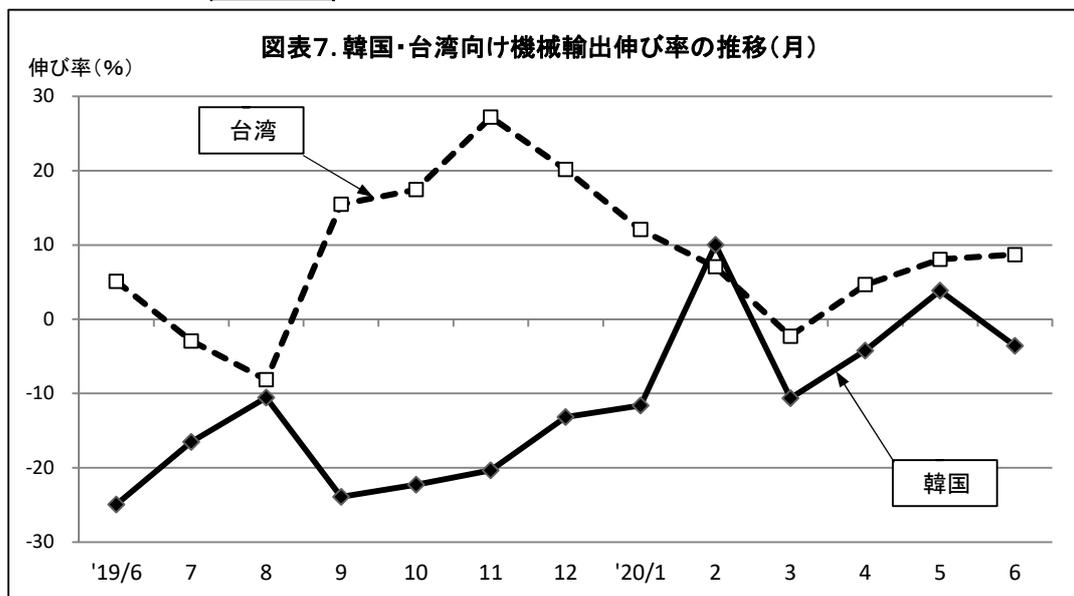


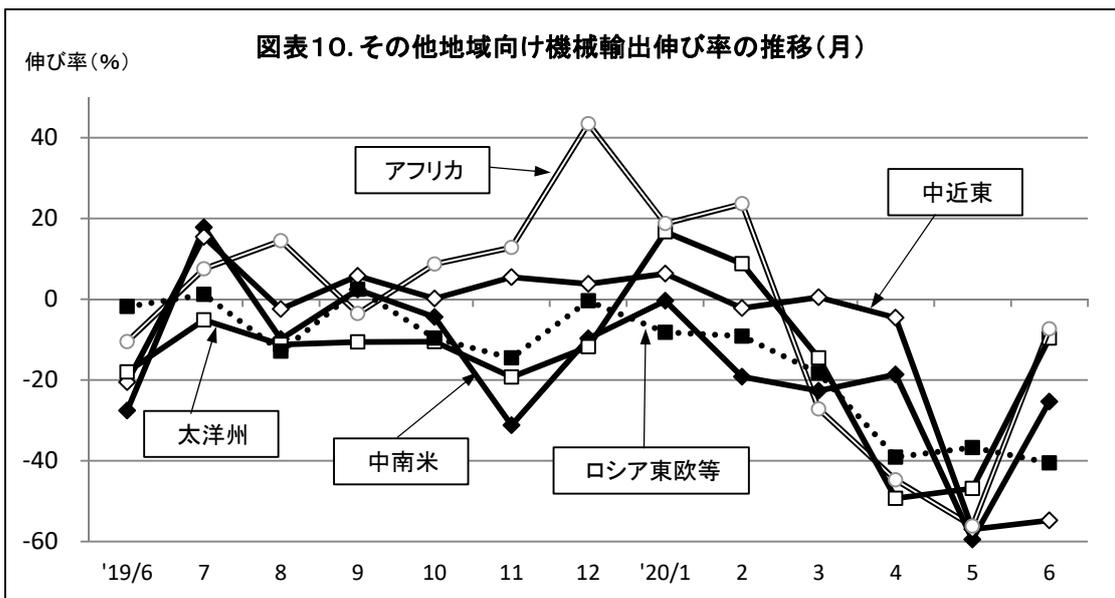
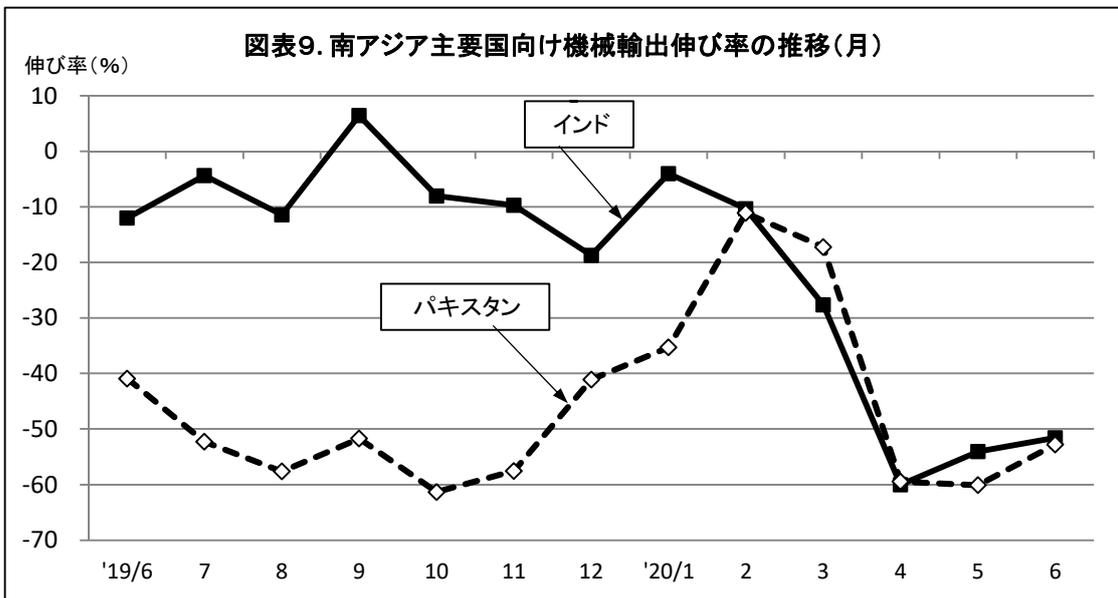
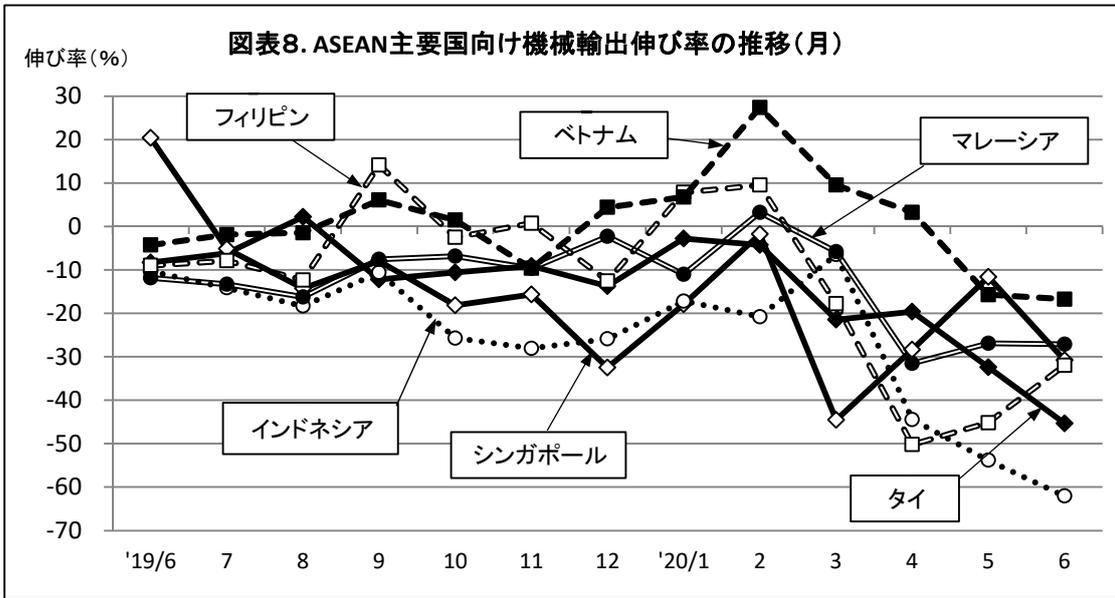
図表6. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(金額単位: 億円、%)

国名	2020/3		2020/4		2020/5		2020/6	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	2,023	▲ 10.6	1,893	▲ 4.2	1,604	3.8	1,690	▲ 3.6
台湾	2,403	▲ 2.3	2,035	4.7	1,978	8.1	2,337	8.7
ASEAN・南アジア								
タイ	1,398	▲ 21.5	1,275	▲ 19.6	950	▲ 32.4	892	▲ 45.4
シンガポール	756	▲ 44.5	755	▲ 28.4	647	▲ 11.6	751	▲ 30.8
インドネシア	767	▲ 6.5	511	▲ 44.4	230	▲ 53.8	325	▲ 62.1
マレーシア	655	▲ 5.8	488	▲ 31.5	418	▲ 26.9	460	▲ 27.1
フィリピン	515	▲ 17.8	316	▲ 50.2	300	▲ 45.2	426	▲ 32.0
ベトナム	847	9.5	731	3.3	551	▲ 15.7	620	▲ 16.7
インド	490	▲ 27.7	208	▲ 60.0	191	▲ 54.0	261	▲ 51.6
パキスタン	76	▲ 17.2	37	▲ 59.5	33	▲ 60.1	45	▲ 52.8
その他地域								
中南米	1,937	▲ 22.7	1,492	▲ 18.7	814	▲ 59.5	1,350	▲ 25.4
中近東	1,911	0.5	1,228	▲ 4.6	558	▲ 57.0	634	▲ 54.8
大洋州	1,159	▲ 14.5	662	▲ 49.3	539	▲ 46.9	1,022	▲ 9.6
ロシア東欧等	1,140	▲ 18.3	772	▲ 39.1	643	▲ 36.8	704	▲ 40.5
アフリカ	614	▲ 27.2	331	▲ 44.7	291	▲ 56.2	576	▲ 7.3

は、2ヶ月連続で前年同月比増加(10%以上)





(4)業種別動向～21業種中船舶のみが増加、19業種が二桁の減少～

- 1)業種別では、船舶(49.3%増)のみが増加し、それ以外の20業種が減少した(5月は21業種すべてが前年同月比減少)。機械全体でも28.8%の減少となった。
- 2)前年同月比で二桁の減少となったのは、自動車(50.3%減)、産業機械(15.9%減)はじめ19業種となり、一桁の減少にとどまったのは、電子デバイス(7.9%減)のみであった。

図表11 上位21業種の輸出額の動き (単位:億円、%)

2020/4			2020/5			2020/6		
業種名	金額	伸び率	業種名	金額	伸び率	業種名	金額	伸び率
自動車	8,165	▲ 47.2	産業機械	5,815	▲ 9.0	自動車	7,325	▲ 50.3
産業機械	6,347	▲ 17.9	自動車	5,006	▲ 61.3	産業機械	6,503	▲ 15.9
電子デバイス	3,319	4.2	電子デバイス	3,009	▲ 1.9	電子デバイス	3,006	▲ 7.9
軽電気機械	2,110	▲ 11.1	軽電気機械	1,713	▲ 18.0	船舶	2,021	49.3
重電気機械	1,789	▲ 13.0	重電気機械	1,465	▲ 17.4	軽電気機械	1,852	▲ 21.7
軽機械	1,423	▲ 19.7	軽機械	1,064	▲ 29.0	重電気機械	1,638	▲ 21.3
民生用電子機械	1,196	▲ 14.9	民生用電子機械	1,018	▲ 14.5	軽機械	1,235	▲ 28.8
船舶	1,177	▲ 13.3	船舶	828	▲ 42.9	民生用電子機械	1,053	▲ 25.2
光学機械	1,005	▲ 8.7	光学機械	779	▲ 20.4	光学機械	961	▲ 13.8
建設機械	956	▲ 31.4	建設機械	645	▲ 44.4	建設機械	861	▲ 35.7
工作機械	481	▲ 33.5	工作機械	424	▲ 39.5	工作機械	500	▲ 28.3
医療機械	406	▲ 10.3	医療機械	405	▲ 0.6	医療機械	432	▲ 16.3
電子計算機	349	▲ 4.2	航空機部品	300	▲ 55.4	航空機部品	417	▲ 42.4
ペーシング	349	▲ 17.4	電子計算機	291	▲ 5.1	通信機械	356	▲ 24.9
通信機械	345	▲ 24.9	通信機械	274	▲ 32.2	電子計算機	305	▲ 19.6
航空機部品	336	▲ 58.0	ペーシング	245	▲ 36.4	陸用内燃機関	296	▲ 35.0
陸用内燃機関	331	▲ 29.0	陸用内燃機関	234	▲ 44.0	ペーシング	273	▲ 32.8
農業機械	191	▲ 12.1	繊維機械	129	▲ 30.8	農業機械	159	▲ 26.5
繊維機械	180	6.3	農業機械	84	▲ 54.9	繊維機械	139	▲ 29.3
産業車両	96	▲ 13.0	産業車両	71	▲ 34.2	産業車両	85	▲ 30.0
鉄道車両	49	▲ 50.7	鉄道車両	38	▲ 52.2	鉄道車両	49	▲ 41.9
21業種合計	30,598		21業種合計	23,839		21業種合計	29,465	

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・産業機械:半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン
 ・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品 ・電子計算機:パソコン、HDD・プリンター等部品 ・軽機械:試験・検査機、理化学用機器
 ・軽電気機械:白物家電、電子計測器、配電機器、電池 ・光学機械:その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品
 ・通信機械:通信機械部分品、受信変換・その他送受信機器

(5)機種別動向～船舶及び磁気カード・ディスク等が増加、時計、自動車部品等が大幅減少～

- 1)10%以上の伸び率を示した機種は、①その他地域(主としてパナマ、リベリア、マーシャル)、ASEAN・南アジア(主としてシンガポール)向け船舶(49.3%増)、②中国、ASEAN・南アジア(主としてフィリピン、シンガポール)向け磁気カード・ディスク等(10.5%増)の2機種であった。
- 2)一方、最も落ち込み幅が大きいのが、時計(54.7%減)、自動車部品(51.0%減)、乗用車(50.1%減)等であった。

図表12. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位:億円、%)

2020/4			2020/5			2020/6		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
携帯電話	23	14.1	半導体製造装置	1,824	12.4	船舶	2,021	49.3
機種合計	23	* 0.1%	機種合計	1,824	* 7.5%	磁気カード・ディスク等	118	10.5
						機種合計	2,139	* 7.2%

は、2ヶ月連続で上位機種 * 機種合計の%は輸出額に占める割合
 通信機械部分品:ゲートウェイ、ルーター等 受信変換・その他送受信機器:ルーター、LANスイッチ等ネットワーク関連機器

図表13. 減少率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位:億円、%)

2020/4			2020/5			2020/6		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
航空機部品	336	▲ 58.0	乗用車	2,744	▲ 65.4	時計	49	▲ 54.7
乗用車	4,544	▲ 52.2	航空機部品	300	▲ 55.4	自動車部品	2,173	▲ 51.0
鉄道車両	49	▲ 50.7	農業機械	84	▲ 54.9	乗用車	4,571	▲ 50.1
写真機の部分品・附属品	64	▲ 49.5	貨物自動車	290	▲ 54.7	貨物自動車	371	▲ 48.2
貨物自動車	402	▲ 45.2	自動車部品	1,809	▲ 54.5	デジカメ・ビデオ	121	▲ 45.5
デジカメ・ビデオ	153	▲ 43.4	写真機の部分品・附属品	44	▲ 53.2	写真機の部分品・附属品	58	▲ 42.7
自動車部品	2,876	▲ 39.9	鉄道車両	38	▲ 52.2	航空機部品	417	▲ 42.4
時計	54	▲ 37.9	TV	43	▲ 50.4	鉄道車両	49	▲ 41.9
工作機械	481	▲ 33.5	デジカメ・ビデオ	115	▲ 49.1	印刷・製本機械	446	▲ 39.7
建設機械	956	▲ 31.4	建設機械	645	▲ 44.4	伝動機	252	▲ 37.1
機種合計	9,915	* 31.9%	機種合計	6,112	* 25.2%	機種合計	8,507	* 28.5%

は、2ヶ月連続で減少率上位10位内 * 機種合計の%は輸出額に占める割合

(6) 機械輸入動向～上位12機種のうち電子計算機をはじめ4機種が前年同月比で増加～

- 1) 6月の機械輸入伸び率は11.3%減と9ヶ月連続で減少した。上位12機種のうち電子計算機(23.2%増)、白物家電(4.9%増)をはじめ、4機種が前年同月に比べて増加し(5月は電子計算機1機種のみ)、そのうち電子計算機、受信変換その他送受信機器(33.1%増)、TV(23.1%増)の3機種が二桁の増加であった。減少したのは、電子デバイス(3.6%減)、携帯電話(15.8%減)、自動車部品(42.1%減)等8機種であった。
- 2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は金額順に電子計算機、白物家電、携帯電話、受信変換その他送受信機器、医療機械、航空機・部品等、配電機器、TV、通信機械部分品、時計、デジカメ・ビデオの11機種となっている。
- 3) 地域別機械輸入額は、全体の44%を占める中国(4.8%増)、ASEAN・南アジア(14.8%減)、韓国・台湾(2.0%減)、北米(25.5%減)、EU27(35.6%減)、その他地域(30.4%減)の順であった。

図表14. 機械輸入額上位12機種 (単位:億円、%)

2020/4				2020/5				2020/6			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子計算機	2,225	5.9	11.3	電子計算機	2,291	14.0	13.4	電子計算機	2,152	23.2	12.6
電子デバイス	2,156	5.5	10.9	電子デバイス	2,060	▲ 2.8	12.0	電子デバイス	2,064	▲ 3.6	12.1
携帯電話	1,575	10.8	8.0	携帯電話	977	▲ 7.3	5.7	白物家電	919	4.9	5.4
乗用車	1,088	12.3	5.5	白物家電	790	▲ 16.2	4.6	携帯電話	745	▲ 15.8	4.4
航空機・部品等	1,006	4.6	5.1	乗用車	708	▲ 48.5	4.1	受信変換その他送受信	717	33.1	4.2
自動車部品	853	▲ 17.5	4.3	航空機・部品等	680	▲ 64.0	4.0	自動車部品	604	▲ 42.1	3.5
白物家電	803	1.0	4.1	受信変換その他送受信	604	▲ 2.4	3.5	医療機械	576	▲ 13.8	3.4
医療機械	682	▲ 4.1	3.5	自動車部品	581	▲ 49.8	3.4	航空機・部品等	566	▲ 57.3	3.3
受信変換その他送受信	641	20.2	3.2	医療機械	578	▲ 23.2	3.4	配電機器	435	▲ 25.5	2.5
配電機器	505	▲ 13.7	2.6	配電機器	390	▲ 39.5	2.3	TV	370	23.1	2.2
コンデンサー等部分品	378	3.5	1.9	その他の配電制御装置	332	▲ 20.8	1.9	コンデンサー等部分品	360	▲ 10.5	2.1
風水力機械	374	2.9	1.9	コンデンサー等部分品	331	▲ 27.5	1.9	その他の配電制御装置	337	▲ 12.6	2.0
12機種合計	12,286		62.3	12機種合計	10,322		60.2	12機種合計	9,845		57.5

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。・白物家電:民生用電気機械

・受信変換その他送受信機器:ネットワーク関連機器 ・その他の配電制御装置:スイッチ、配電盤、制御盤等